

—写真訪問②—

## 森 測 候 所

内浦湾（噴火湾）気象監視と駒ヶ岳の火山活動に、常に目を光らせている森測候所が新しくなった。

同測候所は1937（昭和12）年に現在位置に建てられ、翌年の1938年1月1日から観測を始め現在に至っている。その間、幾度か増改築が行われたが、近年の新型機器類の導入で手狭になったため改築されたものである。

庁舎は鉄筋コンクリート3階建ての合同庁舎で、1階は職業安定所、2階は法務局、測候所は見晴らしのよい3階である。屋上に出ると、噴火湾、駒ヶ岳ともども一層よく見える。監視態勢の強化となったことは言うまでもない。

なお、測候所の位置、広さなどはつぎのとおりである。

所在地 北海道茅部郡森町字上台町90-1

庁舎面積 1376.12 m<sup>2</sup>

敷地面積 2661.64 m<sup>2</sup>

